様式第１号別添３

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社

安全衛生取組事例

1. 会社の目指す姿と現状

(1)会社の目指す姿

従業員が健康でイキイキと働くことで、**「会社ビジョンの達成」を目指す**

(2)現状

・コロナ禍以降に見えてきた課題

(1)有所見者率や腰痛の増加

①全体　‘19 年+5.0P

判定		2020年	2019年	2018年
所見あり		**76.7%**	71.7%	75.6%
内訳	軽度異常	39.1%	24.1%	27.0%
	再検査	37.6%	47.6%	48.6%
所見なし		23.3%	28.3%	24.4%

②生活習慣病関連(*)　‘19 年+5.6P

判定		2020年	2019年	2018年
所見あり		**62.9%**	57.3%	58.7%
内訳	軽度異常	25.7%	18.9%	19.8%
	再検査	37.1%	38.4%	38.9%
所見なし		37.1%	42.7%	41.3%

(*)BMI・血圧・肝機能・脂質代謝・糖代謝・尿酸

腰痛　’19 年+26.9P

・睡眠不足

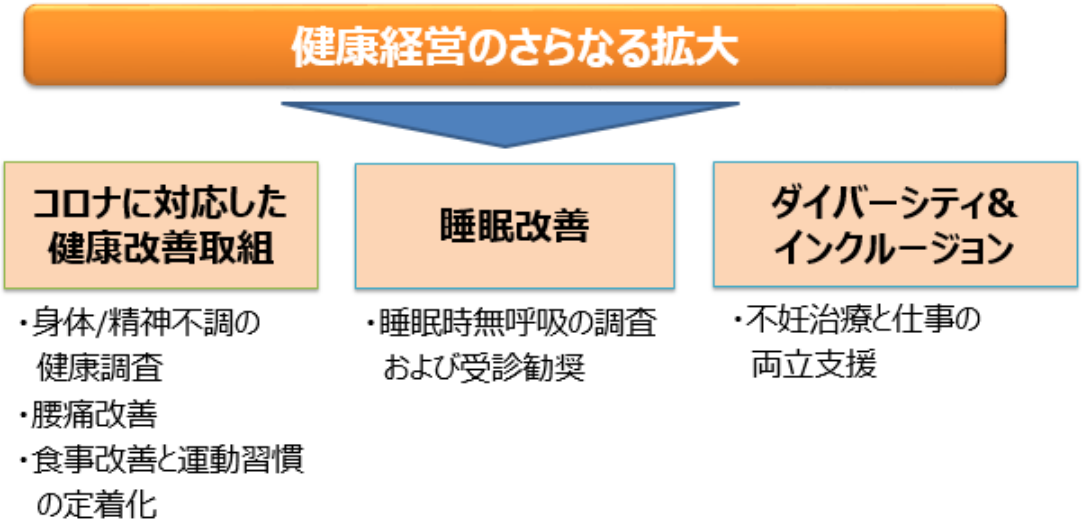
①’20 安全健康実態調査：日常的に睡眠を 6h とれていない(45.2%)

熟睡できていない(22.7%)

②保健師ヘルスガイダンス/産業医面談：睡眠で疲れが取れない(28.8%)

⇒「睡眠時無呼吸」が疑われる症状がみられる

・不妊治療
不妊治療中の従業員より医療職宛に以下の相談あり
①言いにくさや突発の休みづらさを感じている
②年休以外に使える休務の必要性を感じている



2. 会社の目指す姿と現状

(1) コロナに対応した健康改善取組

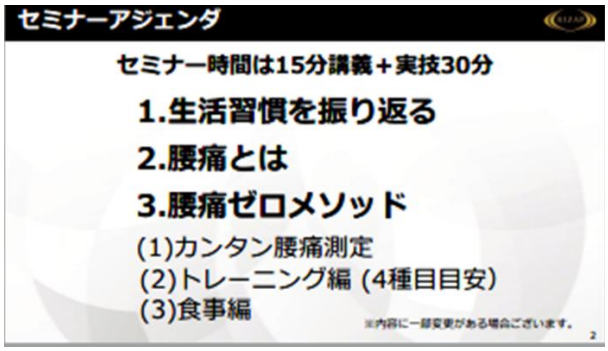
①身体/精神不調の健康調査

■緊急事態宣言時の健康調査　2020 年 4～6 月・2021 年 1～3 月実施
新型コロナウイルスの影響によって、従業員の勤務環境が変化したため、
従業員・派遣社員を対象に、「①目・筋骨格・神経」および「②ストレス」に関する問診
一定以上の不調者と面談希望者に対して、面談を実施(約 20 名/回)
→休務者は 0 名

②腰痛改善

・肩こり腰痛対策として補助イス貸与

・「腰痛予防セミナー」を動画配信
内容：①生活習慣を振り返る　②腰痛とは　③腰痛ゼロメソッド
約 200 名の従業員が視聴



③食事改善と運動習慣の定着化

・RIZAP コラムを社内イントラに掲載

内容：①「脚」トレーニング　②体脂肪　③血圧　④水分/アルコール
⑤コンビニ食　⑥ウォーキング　⑦ながら運動

約 200 名の従業員が視聴

・TTDC 健康イキイキ大賞の実施

内容：コロナ禍においても、イキイキと働き続けるための「心身の健康維持や向上」につながる工夫を募集し、優秀内容を表彰

約 300 名の従業員より応募

表彰名	内容	賞品
香川社長賞	**仲間とのオンラインでランニング** 記録デバイス(スマホ or スマートウォッチ)をもって、毎日30分～1時間程度ランニングし、アプリで管理されデータ(距離・スピードなど)を会社の仲間と共有している。 特に月間走行距離ランキングを競い、モチベーションが上がる。	SIXPAD Foot Fit2
野田本部長賞	在宅勤務時、昼休みの時間を使って30分のウォーキングを実施。 単に歩くだけでなく、**趣味の登山気分を味わうべく、ザックを背負って階段昇降**をしている。	sonyワイヤレス イヤホン
鷺山本部長賞	週に1回、スポーツジムにて**45分間のボクササイズ・トレーニングで運動を行い、その後にサウナでこころのリフレッシュ**をしている。	Garminウォッチ
森執行役員賞	在宅勤務中に身体を動かすため、**離れた場所にタイマーをセットし、一定時間ごとに離席。**	3D Shaper Spot
肥田執行役員賞	**英語学習のyoutubeを見ながらエアロバイクをして、**勉強と運動を同時に実施。	
八谷監査役賞	・**「姿勢矯正サポータ」で背中の丸まりを矯正** ウォーキング時の姿勢を正すことで普段の歩行時や在宅勤務時の姿勢を正し、腰痛を防止。 ・厚底の「ランニングシューズ」に**「O脚・X脚矯正インソール」を装着** 靴底で膝への衝撃を吸収、インソールによりウォーキング時の膝痛が解消。	目元マッサージャー niplux eye relax

(2) 睡眠時無呼吸の調査

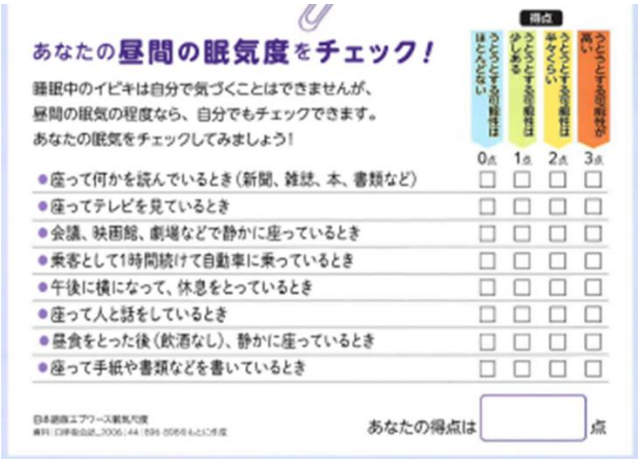
・内容：e-Learning にて昼間の眠気度チェックに回答

「日中重度の眠気」と診断された者のうち希望者は産業医面談のうえ

紹介状発行

・約 800 名が診断し、うち 24 名が「日中重度の眠気」と診断

・保健師による状況確認後、4 名が産業医と面談し、受診勧奨



あなたの昼間の眠気度をチェック！

睡眠中のイビキは自分で気づくことはできませんが、
昼間の眠気の程度なら、自分でもチェックできます。
あなたの眠気をチェックしてみましょう！

	うとうとする可能性はほとんどない 0点	うとうとする可能性は少しある 1点	うとうとする可能性は半々くらい 2点	うとうとする可能性が高い 3点
●座って何かを読んでいるとき（新聞、雑誌、本、書類など）	□	□	□	□
●座ってテレビを見ているとき	□	□	□	□
●会議、映画館、劇場などで静かに座っているとき	□	□	□	□
●乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき	□	□	□	□
●午後に横になって、休息をとっているとき	□	□	□	□
●座って人と話をしているとき	□	□	□	□
●昼食をとった後（飲酒なし）、静かに座っているとき	□	□	□	□
●座って手紙や書類などを書いているとき	□	□	□	□

あなたの得点は　　点

(3) 不妊治療と仕事の両立支援

①職場への理解活動

不妊治療を受けている人・ これから受ける人が仕事を続けながら治療するために必要なサポートについて、従業員が理解を深める

⇒e-Learning を実施

項目	内容
対象者	全従業員
ねらい	不妊治療の内容・スケジュールを理解し、不妊治療による休務を取りやすくする
内容	①不妊治療とは　②不妊治療のスケジュール　③妊娠しやすい時期 ④突発休務が必要な理由　⑤上司・メンバーへのお願い<*> <*>上司：仕事のアサイン、体制整備　職場：突発休務へ対応

②特別休暇

・不妊治療を事由とする特別休暇を新設

日数・手当は生理特休と同一、また男性も取得可

2022 年 1 月より運用開始⇒2022 年 6 月男性 1 名利用実績あり

・個人のプライバシーに配慮した名称

生理・不妊治療を事由とする特別休暇を「ケア休暇」とする

該当事項	単位	特別休暇手当額
生理日 **不妊治療**	1日	第1日目　基準賃金日割額 第2日目　基準賃金日割額×0.9 第3日目以降　なし

③冊子への掲載

「不妊治療を受けながら働き続けられる　職場づくりのためのマニュアル」

(厚生労働省発行)にて、TTDC の取組を紹介

(12)トヨタテクニカルディベロップメント株式会社【知的財産・計測制御事業　従業員数 約1,000人】

❶ 制度や取組の導入理由・経緯

社員から不妊治療と仕事の両立に悩んでいるとの相談があり、「従業員の多様性が活かされイキイキと働き続けられる会社」という会社ビジョンの達成と社員の悩みごとの解決を目指して制度を導入することとし、2022年1月から運用を開始しました。

❷ 主な制度や取組

<ケア休暇>
●新たに不妊治療と生理を取得事由とする特別休暇として「ケア休暇」を新設した。1日単位で取得可能で1か月につき2日までは有給(1日目100%、2日目90%)。休暇の対象者は女性に限らず、男性も申請可能。

<多様な働き方に対する理解活動(e-Learning)>
●不妊治療を行う社員の上司や同僚が、不妊治療の現状や特性について理解し、治療を行う社員に配慮ができるような内容としている。全社員を対象に実施した。

<産業保健スタッフとの面談>
●不妊治療を受けていることを社内で言いたくないが、治療と仕事との両立で困っている場合や、上司としてケア休暇への対応が分からない場合などの各種悩み相談の窓口となっている。社員として常駐する男性の産業医又は女性の保健師を指名することもできる。

<特定不妊治療・男性不妊治療に要した費用の助成>
●健康保険組合の助成制度を利用することが可能。特定不妊治療に要した費用の一部を助成する制度としており、助成対象の治療を行った場合、初回上限10万円、2回目以降は上限5万円の補助金が支給される。対象者は、健保の組合員とその夫又は妻となっており、年齢や所得等による利用制限はない。

<テレワーク>
●在宅勤務制度として、全従業員にPC・スマホを配付して自宅でも生産性を下げることなく勤務出来る環境を提供している。また、一定資格(係長級)以上の者は出張先でのモバイルワークも可能。

<フレックスタイム制>
●原則利用可能。コアタイムはなく、最短1日4時間の勤務となる。

❸ 制度等の利用者や周囲の声

制度については、「会社から休暇制度の整備やe-Learningの実施などの働きかけがあるのはありがたい」「不妊治療中なので悩みになる」等の肯定的な意見が多い。

❹ 導入・運用のポイント

「ケア休暇」については、不妊治療等直接的な名称を用いず、親しみがあって社内で言いやすい名称にするために従業員より名称募集を行い決定しました。また、全社員を対象としたe-Learningにおいては、不妊治療の現状と特性について記載し、当事者意識を持って上司や同僚としてサポートすることをお願いしたことにより、理解の促進が図られました。制度の制定のみならず、今後も制度が利用しやすい風土作りに継続的に取り組んでいきます。

3. 取組結果(2021 年定期健康診断)

有所見者率　※軽度異常:C1判定　再検査:C2・D判定

①全体　'20年▲0.8P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**75.9%**	76.7%	71.7%
内訳	軽度異常	49.7%	39.1%	24.1%
	再検査	26.2%	37.6%	47.6%
所見なし		24.1%	23.3%	28.3%

②生活習慣病関連　'20年▲1.2P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**61.7%**	62.9%	57.3%
内訳	軽度異常	29.6%	25.7%	18.9%
	再検査	32.0%	37.1%	38.4%
所見なし		38.3%	37.1%	42.7%

生活習慣病関連_内訳

<BMI> '20年+0.6P

項目	2021年	2020年	2019年
肥満	**24.3%**	23.7%	20.8%
肥満傾向	7.2%	7.8%	7.7%
標準	50.1%	49.5%	52.2%
ヤセ	18.4%	18.9%	19.2%

<血圧> '20年▲0.5P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**6.1%**	6.6%	5.8%
内訳	軽度異常	4.5%	4.7%	3.5%
	再検査	1.6%	1.9%	2.3%
所見なし		93.9%	93.4%	94.2%

<肝機能> '20年+1.5P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**34.0%**	32.5%	28.3%
内訳	軽度異常	23.0%	19.8%	17.7%
	再検査	11.0%	12.7%	10.6%
所見なし		66.0%	67.5%	71.7%

<脂質代謝> '20年▲0.7P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**38.2%**	38.9%	35.4%
内訳	軽度異常	28.3%	21.9%	12.1%
	再検査	9.9%	17.0%	23.3%
所見なし		61.8%	61.1%	64.6%

<糖代謝> '20年+0.7P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**3.5%**	2.8%	2.5%
内訳	軽度異常	2.1%	1.4%	1.2%
	再検査	1.4%	2.5%	1.3%
所見なし		96.5%	96.2%	97.5%

<尿酸> '20年▲2.0P

判定		2021年	2020年	2019年
所見あり		**16.5%**	18.5%	14.7%
内訳	軽度異常	12.8%	13.9%	10.3%
	再検査	3.7%	4.6%	4.3%
所見なし		83.5%	81.5%	85.3%

・有所見者率の改善が見られた
・BMI、肝機能、糖代謝は引き続き対策が必要(食事・運動等の生活習慣見直し)

4. 今後の取組

1.施策の見直し

・マンネリ化　(例)歩数イベント
　従業員を飽きさせない工夫が必要
・コミュニケーション
　在宅勤務が進んでも、コミュニケーションの機会を減らさない

2.取組の方向性

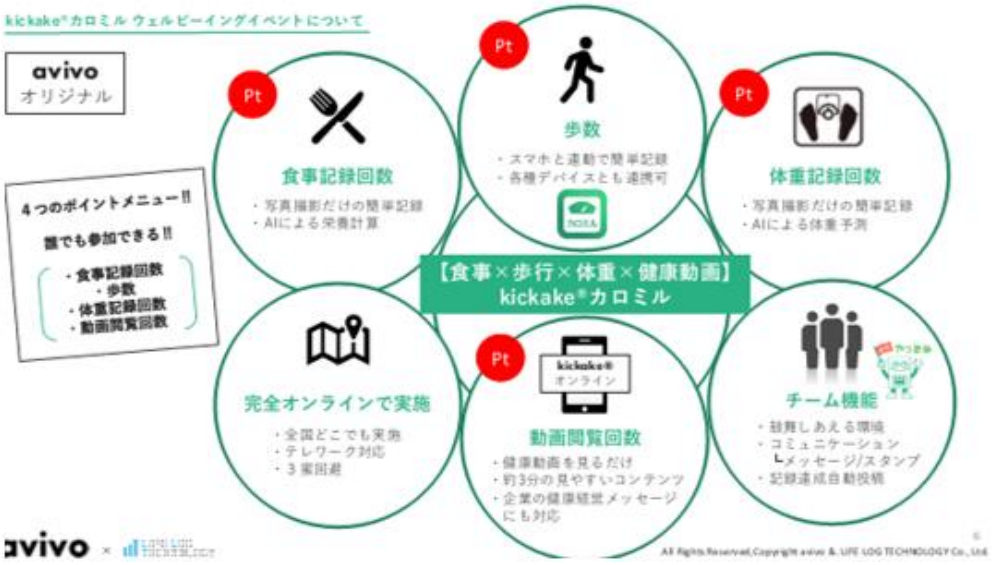
・多様性　SDGs
　性別問わずイキイキと働き続けられる施策の推進
・全社員へのスマホ配付
　スマホ・アプリを活用

生活習慣改善に向けた、既存施策の見直しが必要

既存の歩数イベントの見直し

健康イベント「kickakeカロミル」の実施

・食生活の見直しと運動習慣付けを目的
・内容：歩数に加えて、食事記録、体重記録と健康関連の動画視聴回数を競うイベント
　　食事や体重の記録は、カメラで写真に撮るだけでカロリーや栄養素、体重を数値化



既存の歩数イベントの見直し

・歩数、食事記録回数、体重記録回数、動画視聴回数をもとにポイントを付与
動画の内容、食生活の見直しに加え、下肢トレーニングや肩こり・腰痛改善
⇒転倒や腰痛等による労災の防止にもつながる

＜ポイント詳細＞

項目	獲得ポイントと基準
歩数	3,000歩～4,999歩：1点 5,000歩～7,999歩：2点 8,000歩～9,999歩：3点 10,000歩～　　：4点
食事記録回数	朝食、昼食、夕食の各食事記録：各2点 翌日以降の記録：1点
体重記録	1回以上/日の記録で2点 翌日以降の記録：1点 ※記録は朝のみ、夜のみでOK。両方記録しても加点なし
動画閲覧	1動画以上/日の閲覧で2点 （会社の健康経営メッセージ動画閲覧で2点など 独自コンテンツの追加も可能です）

＜表彰例＞

・チーム賞

・個人賞
MVP　　：歩数や記録回数などで表彰
リーダー賞：最も リーダーシップを
　　発揮した方を表彰
参加賞　　：参加しただけで表彰　　等

ポイント計算（最大16点/日）

イベント開催期間の食事pt＋歩数pt+体重記録pt+動画閲覧ptの合計（最大５０pt）をチーム人数で割りチーム平均点数で順位を決める。

チーム名	ポイント	順位
チームA	33.55Pt	1
チームB	32.77Pt	2
チームC	32.44Pt	3

avivo × LIFE LOG TECHNOLOGY

All Rights Reserved,Copyright avivo & LIFE LOG TECHNOLOGY Co., Ltd